

2008 年度（平成 20 年度）

事業報告書

自 2008 年 4 月 1 日

至 2009 年 3 月 31 日

社団法人企業メセナ協議会

I 法人の概況

1. 法人設立年月日

1990年4月20日

2. 定款に定める目的

この法人は、芸術文化活動に対する支援を行う企業相互の連絡協議を図り、芸術文化支援に係わる啓発、情報提供、顕彰等を行うとともに、企業と協力して芸術文化活動への助成を行い、もってわが国の芸術文化の向上、発展に寄与することを目的とする。

3. 定款に定める事業内容

- (1) 芸術文化に関する啓発・普及
- (2) 芸術文化支援に係わる情報の収集と配布、並びに仲介
- (3) 芸術文化支援活動の調査・研究
- (4) 芸術文化支援活動の顕彰
- (5) 海外の同種の機関との交流
- (6) 企業との協力による芸術文化活動への助成
- (7) その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

4. 所管官庁に関する事項

文化庁 文化部 芸術文化課

5. 会員の状況

種類	当期末	前期末比増減
正会員	141社	△8
準会員	39社・団体	△1
合計	180社・団体	△9

6. 会議等の開催状況

会議名	回数	会議名	回数
理事会	3回	大賞部会	4回
通常総会	2回	研究部会	6回
幹事会	8回	助成選考委員会	6回
調査部会	4回	メセナ アワード審査会	2回

7. 部会メンバー

2008年度の部会メンバーは以下の方です。

(敬称略、所属は当時、氏名 50音順、◎印：部会長)

<調査部会>

- ◎ 関正雄(損害保険ジャパン)、大野マリ(日本オラクル)、齊藤公治(NEC)、柴崎敏男(三井物産)、嶋田実名子(花王)、田中文成(日本経済新聞社)、富田秀実(ソニー)、松代隆子(電通/吉田秀雄記念事業財団)

<大賞部会>

- ◎ 布施直人(トヨタ自動車)、上野友紀(フェリシモ)、尾崎宣之(京都服飾文化研究財団)、久保豊(資生堂)、田中典子(パナソニック)、舟橋香樹(大日本印刷)、町田龍一(新日鐵文化財団)

<研究部会>

- ◎ 加藤種男(アサヒビール)、一橋忠(資生堂/12月~)、市村作知雄(アートネットワーク・ジャパン)、大久保典香(AIGホールディングス/~9月)、片山正夫(セゾン文化財団)、金村俊治(パナソニック)、斉藤全彦(セガサミーホールディングス)、佐藤正明(ソニー音楽芸術振興会/~3月)、清水あつ子(富士ゼロックス/12月~3月)、高萩宏(せたがや文化財団)、中山直人(トヨタ自動車/12月~)、樋口昌樹(資生堂)、吉本光宏(ニッセイ基礎研究所)、研究アソシエイト：宮崎刀史紀(神奈川芸術文化財団)

II 事業の状況

1. 啓発・普及事業 (5,507 千円)

1.1 セミナー、シンポジウム (1,229 千円)

■開催状況

- ・ 本年度は7回開催(07年度6回)。開催地6都府県(東京・香川・岡山・三重・大阪・神奈川)。主催5(単独3・共同2)、共催2。のべ参加者数320名。

■さまざまな地域での開催

- ・ 開催地の多様化についてはかねてより課題としていますが、2008年度は三重県(四日市市)で初めてセミナーを実施しました(協議会事業としても初開催)。企業メセナになじみのない方々や、これまで交流のなかった三重県の文化担当部門、地域の政策を担う四日市市長に対し、概要や意義について情報発信するよい機会となりました。

■各地のNPOや財団等との共同開催

- ・ 本年度は、2004年度より毎年セミナーを共催してきた(財)大阪21世紀協会(準会員)のほか、(財)横浜市芸術文化振興財団(準会員)とも企画段階より協働してセミナーを共催しました。また、四日市市のNPO法人アートNPOヒューマンシアターからは連続セミナー(前後編)共催の提案があり、企画や運営をサポートする形で連携しました。共催相手から地元のメセナ情報やアート、NPO情報等について学ぶことが多く、運営のノウハウを共有できたことは共催の成果の一つでした。

■協議会他事業との連動

- ・ 「子ども(次世代育成型)メセナを考える」では、セミナーだけで完結せず事業間の連動を試みました。広報活動との連携では、セミナーで収集した情報をもとに、夏休み時期に「プレスリリース」を配信し(230部)、教育関連等5媒体(WEB含)に記事が掲載されました。また、セミナー抄録を「メセナnote」(57号)に掲載。協議会媒体との連動も実現しました。

【開催実績】

※敬称略、出演者の所属は開催当時

開催日	会場	テーマ・内容	参加者
【'08-No.1】 2008年 5/15(木) 単独主催	第一鉄鋼ビル地下会議室A(東京)	「ゼロから知る!メセナ入門講座~企業メセナの概要、最新トピックスから、実務のヒントまで~」 ・「これだけはおさえない、企業メセナの基礎知識」(協議会事務局) ・「なぜ、企業はメセナをするのか~メセナの基本精神から実務の心得まで」(講師:柿崎孝夫 東京純心女子大学客員教授/元資生堂企業文化部長・執行役員) ・メセナなんでもQ&A(講師へのインタビュー)	42名
【'08-No.2】 6/30(月)	トヨタ自動車東京本社B1Fホール	「子ども(次世代育成型)メセナを考える~教育現場の最新事情&企業の取り組み事例を知ろう~」 ・レクチャー「最新教育現場事情、企業メセナに求められていること」(講師:藤川大祐 千葉大学教育学部准教授/教育方法学・授業実践開発)	84名

単独主催	(東京)	<ul style="list-style-type: none"> 参加企業5社による事例発表[発表企業:コスモ石油/GSKホールディングス/ソニー/TOA/トヨタ自動車] グループ別ディスカッション[ディスカッションテーマ:広報/芸術団体との協働/教育機関との連携] 各グループのディスカッション内容を報告、まとめ 	
【'08-No.3】 10/24(金) 10/25(土) 単独主催	香川県直島、岡山県犬島	<p>フィールド視察:自然・歴史・アートの融合が生む新たな循環型社会モデル「ベネッセアートサイト直島・犬島アートプロジェクト【精錬所】を巡る」</p> <ul style="list-style-type: none"> 主な視察先…ベネッセハウス、家プロジェクト、地中美術館、犬島アートプロジェクト【精錬所】他。新たな地域創造のモデルとして注目される両島の事例を体感し、地域の活力を引き出すアートの可能性を考える現場視察。 	23名
【'08-No.4】 11/6(木) 共催	四日市商工会議所1Fホール(三重県四日市市)	<p>発掘!<地域活力> vol.1「~文化と産業の融合による地域の活性化~地域メセナ、企業とNPOのパートナーシップ、その可能性を探る」(前編)</p> <ul style="list-style-type: none"> オープニングスピーチ「産業史からみる四日市像」(山城夏樹 四日市商工会議所理事事務局長) 基調講演「文化によるまちづくり~地域貢献としての企業メセナ」(加藤種男 アサヒビール芸術文化財団事務局長) プレゼンテーション(障害者支援グループピラミッド、三四音楽教育研究協議会、アートNPOヒューマンシアター) コメント・ディスカッション(モデレーター:加藤種男、コメンテーター:藤本和弘 三重県政策部理事、山城夏樹) 	44名
【'08-No.5】 2009年 2/11(水・祝) 共催	同上	<p>発掘!<地域活力> vol.2(後編)</p> <ul style="list-style-type: none"> オープニングスピーチ「めざすは、創造都市!？」(吉本光宏 ニッセイ基礎研究所芸術文化プロジェクト室長) 基調講演「マネジメントから見える地域文化」(宮崎由至 宮崎本店代表取締役社長) プレゼンテーション1「四日市の魅力を創造する」(陣内広和 アートNPOヒューマンシアター理事長) プレゼンテーション2「企業メセナが地域にもたらすもの」(荻原康子 企業メセナ協議会シニア・プログラム・オフィサー) ディスカッション(モデレーター:吉本光宏、パネリスト:宮崎由至、藤本和弘 三重県政策部理事、「美し国おこし・三重」実行委員会事務局長、山田康彦 三重大学教育学部学部長、荻原康子、陣内広和、久安典之 四日市地域まちかど博物館推進委員会代表、飯田淳子 市立四日市病院ボランティアふれあいグループ会長、寺本佐利 人財ポケットよっかい) 	79名
【'08-No.6】 2/26(木) 共同主催	應典院本堂ホール(大阪市)	<p>大阪21世紀協会 平成20年度メセナセミナー 「地域から見る、企業メセナの可能性」 ~アートと企業と地域とのデザインを考える~</p> <ul style="list-style-type: none"> 事例紹介:①【大阪】アーティストの可能性を引き出した老舗塗料メーカーとのコラボレーション(中西美穂 大阪アーツアポリア代表理事)、②【大阪】:ダンボール工場×アートの「ふしぎかわいい」ブリコラージュのかたち(島津聖 矢野紙器 Able Design 事業部プロダクトマネージャー、山下里加 アートジャーナリスト/京都造形芸術大学講師)、③【別府】:別府から見る市民主導型のフェスティバルと企業メセナの結びつき(山出淳也 BEPPEU PROJECT代表理事) トークセッション:トーカー中西美穂 / 島津聖 / 山下里加 / 山出淳也、ファシリテーター:山口洋典(應典院主幹) 	67名
【'08-No.7】 3/24(火) 共同主催	BankART Studio NYK(神奈川県横浜市)	<p>陽春文化鼎談「野生と創造~旭山動物園の【発想転換力】と【想像力】~」</p> <ul style="list-style-type: none"> 基調講演(坂東元 旭川市旭山動物園副園長) トークセッション(坂東元×甲斐賢治 remo×加藤種男 アサヒビール/横浜市芸術文化振興財団) 	104名

1.2 広報活動 (287 千円)

(1) 記者発表会、その他

■ 「メセナ アワード 2008」

選考結果記者発表会

開催：2008 年 9 月 29 日 (月)

会場：ワード資生堂

参加記者：30 名

掲載件数：120 件

「メセナ アワード 2008」
選考結果記者発表会 ▶



■ 「2008 年度メセナ活動実態調査」

結果記者発表会

開催：2008 年 11 月 12 日 (水)

会場：東京商工会議所

参加記者：24 名

掲載件数：17 件

「メセナ活動実態調査」
記者発表会 ▶



■ 「メセナ アワード 2008」贈呈式

開催：2008 年 11 月 28 日 (金)

会場：スパイラルホール

参加記者：34 名

掲載件数：22 件

(2) プレスリリースによる情報発信

■ 広がる「次世代育成型メセナ」の取り組み

(7 月 24 日配信、掲載件数 5 件)

■ 「メセナ アワード 2008」受賞企業・活動決定

(9 月 29 日配信、掲載件数：上記参照)

■ ー2008 年度「メセナ活動実態調査」結果ー

芸術の特性いかし、領域広げるメセナ

(11 月 12 日配信、掲載件数：上記参照)

■ ー2008 年度「企業財団のメセナ活動実態調査」結果ー

公益法人制度改革直前のメセナ財団の意識を調査

(11 月 12 日配信、掲載件数：上記参照)

■ 地域コミュニティ再生の為の政策ビジョン「ニュー・コンパクト」

を提案 (3 月 16 日配信、掲載件数：62 件)

(3) 英語によるプレスリリースの情報配信

- 2008 Japan Mécénat Award (November 2008)
- Fiscal 2007 “Investigation Survey of “Mécénat Activities” Result (December 2008)
- The result of “The Investigation Survey of Mécénat Activities by Corporate Cultural Foundations” for fiscal 2007(December 2008)

(4) その他取材対応

- ジャパン・タイムズ 7月13日特集記事
「Japan's culture policy lingers in limbo」
- 日本大学芸術学部演劇学科アートマネジメント展(9月24日～)
「舞台芸術におけるアートマネジメント～演劇制作者のしごと～」
- 産経新聞社 編集局 特集部記者
最近のメセナ、世界遺産についてのメセナ活動について
- 「日本の底力を企業メセナに探る」シンポジウム(参加記者5名)
保険毎日新聞4月1日掲載
- その他、電話取材25件程度

1.3 全国メセナ組織との交流 (193千円)

全国メセナネットワーク(加盟17団体)の第13回全国会議が、(財)八尾市文化振興事業団との共催のもと、8月22日(金)・23日(土)の両日、大阪府・八尾市の「八尾市文化会館プリズムホール」にて開催されました。また、各地に根ざして活動するメセナ団体について、より発信力を高めるため、全国メセナネットワーク公式ウェブサイト(<http://zenkokumece nat.seesaa.net/>)の新設を推進しました。

■全国メセナネットワーク第13回全国会議

主催：全国メセナネットワーク、(財)八尾市文化振興事業団

協賛：(株)資生堂、(株)損害保険ジャパン、トヨタ自動車(株)、(株)ワコール

協力：アサヒビール(株)

後援：八尾市、大阪府公立文化施設協議会、八尾商工会議所、(財)関西生産性本部、「美男におわす八尾地蔵」上演実行委員会

参加者：全国メセナネットワーク加盟団体関係者、企業のメセナ・社会貢献担当者、芸術文化団体・文化施設担当者、文化行政・文化政策関係者等約100名(当協議会からは会員担当者、加藤専務理事等、計9名が出席。)

【8月22日（金）】

- 基調講演「なぜ地域社会に芸術文化が必要なのか？」
平田オリザ氏（劇作家・演出家、劇団「青年団」主宰、東京・こまばアゴラ劇場支配人、大阪大学コミュニケーション・デザインセンター教授）
- シンポジウム「芸術文化のチカラ再確認 地域で取り組む～共創の響き～」
コーディネーター：柴田英紀（（財）鳥取県文化振興財団文化芸術デザイナー）
パネリスト：安藤信行（元大阪フィルハーモニー交響楽団チェリスト）、
荒起一夫（（財）吹田市文化振興事業団理事長）、
永井伸和（（株）今井書店グループ会長）
- 情報交流会
- 創作オペラ・かわち歌しばい「美男におわす八尾地蔵」／落語・桂雀々『地獄八景亡者戯』鑑賞



【8月23日（土）】

- ネットワーク総会
- 全国メセナネットワーク会議「個性が光る、地域のメセナ～各団体の事例発表と意見交換～」

2. 情報集配・仲介事業（21,300千円）

2.1 情報誌の発行（4,967千円）

協議会機関誌『メセナ note』（16頁・A5判、隔月発行、4000部）の55～60号を次の内容で発行。毎号タイムリーな特集テーマを企画し、会員企業のメセナ活動をはじめ具体的な事例を紹介するよう意図しました。

57号「メセナによる次世代」、59号「メセナの成果をどう測るか」では、協議会のセミナーや調査事業と連動した内容とし、58号「オンリーワン・メセナ」ではメセナ アワードに応募された企業のメセナ活動を中心に紹介するなど、機関誌としての性格を強調しました。

また、顕彰事業メセナアワードへの一般投票を募る増刊号「あなたが選ぶメセナ賞」（11/20）、メセナ活動実態調査の結果をまとめた特別号「メセナリポート」（11/15）も発行しています。

なお本誌の発行にあたっては、以下の会員企業10社よりご協賛をいただきました。

- 協賛：アサヒビール、板室観光ホテル大黒屋、サントリー、資生堂、損害保険ジャパン、第一生命保険、大日本印刷、パナソニック、ベネッセコーポレーション、ワコール（50音順）

(筆者等敬称略)

55号(5/15発行) 特集:演劇と企業メセナ	
巻頭言	演劇界の変化と課題 演劇評論家 扇田昭彦
トップインタビュー	文化芸術振興は地域活性化の起爆剤 (財)地域創造 理事長 林省吾
特集	懐の深い企業に期待するNPO法人 アートネットワークジャパン 代表 市村作知雄
	演劇と企業メセナ:概論
	成果を急がない創造支援を (財)セゾン文化財団プログラム・オフィサー 岡本純子
	メセナのヒント:演劇の情報サイト
その他	お答えします!メセナに関する質問・相談(7)海外でのアート活動に支援を集めるには
	メセナ担当者のためのアート講座(7) <伝統芸能・前編> 近くて遠い?私たちの伝統芸能 浅井一芳 (東京文化座)

56号(7/15発行) 特集:アジアのアートパワー	
巻頭言	「アジア」という現象 森美術館 館長 南條史生
トップインタビュー	社会から長く信頼される企業であるために 日本電気(株) 代表取締役会長 佐々木 元
特集	文化多様性から見た韓国の映画振興 三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株) 芸術・文化政策センター センター長/主任研究員 太下義之
	世界の中のアジア演劇 国際交流基金 舞台芸術専門員 畠 由紀
	「踊りに行くぜ!」インドネシア4都市ツアー アジアに広がるダンスのネットワーク ジャパン・コンテンポラリーダンス・ネットワーク代表 佐東範一
	オーケストラから見るアジアのこれから オーケストラ連盟 顧問 岡山尚幹
	日本のクリエイター300人によるエコグッズデザイン展 IN 上海 リクルート ガーディアン・ガーデン プランニング・ディレクター 菅沼比呂志
	メセナのヒント:中国社会のニーズをつかむ 国際交流基金 事業開発戦略室長 富岡順一
その他	お答えします!メセナに関する質問・相談(8):アマチュアに対する支援はあるの?
	メセナ担当者のためのアート講座(8) <伝統芸能・後編> この世の名残の、伝統芸能? 浅井一芳 (東京文化座)

57号(9/15発行) 特集:メセナによる次世代育成	
巻頭言	ESDとアート 日本女子大学 事務局長 島田京子
トップインタビュー	独自の経営資本をいかす社会文化活動を (株)フェリシモ 代表取締役社長 崎和彦
特集	企業に求めたい学校教育への貢献 千葉大学教育学部 准教授 藤川大祐
	企業メセナ協議会公開セミナー 子ども(次世代育成型)メセナを考える コスモ石油/CSKホールディングス/ソニー/TOA/トヨタ自動車
	メセナのヒント:子どものためのメセナプログラム
その他	お答えします!メセナに関する質問・相談(9):どうする?メセナのパートナー探し
	メセナ担当者のためのアート講座(9) <映画・前編> 映画祭は映画のミライをアカルクする 金谷重朗 (東京フィルメックス実行委員会)

58号(11/15発行) 特集:オンリーワン・メセナ	
巻頭言	多様ゆえに続く生き物に学ぶ JT 生命誌研究館 館長 中村桂子
トップインタビュー	「メセナ アワード2008」メセナ大賞受賞 美意識をはぐくみ社会を潤す「水」として サントリー(株) 代表取締役会長兼代表取締役社長 佐治信忠
特集	産業博物館のオンリーワン 印刷博物館 館長 樺山紘一
	発見! オンリーワン・メセナ 京都中央信用金庫/今西清兵衛商店/神戸風月堂/エンゼル財団/ユーハイム 日機装/大塚製薬グループ/白寿生科学研究所/西日本シティ銀行 メセナのヒント:「オンリーワン・メセナ」の見分け方
その他	お答えします!メセナに関する質問・相談(10):新たな公益法人になるためには?
	メセナ担当者のためのアート講座(10)<映画・後編>映画祭は「ライブ」である 金谷重朗(東京フィルメックス実行委員会)

59号(1/15発行) 特集:メセナの成果をどう測るか	
巻頭言	ベニサンに育てられて 演出家 蛭川幸雄
トップインタビュー	「メセナ アワード2008」伝統技能継承賞/あなたが選ぶメセナ賞受賞 匠の技と心を絶やさないために (株)竹中工務店取締役社長/(財)竹中大工道具館理事長 竹中統一
特集	エピソードで伝えるメセナの意義 (株)損害保険ジャパン理事 GSR・環境推進室長 関 正雄
	企業メセナ協議会・調査部会 研究報告&ラウンドテーブル「メセナの成果をどう測るか?」メセナ活動実態調査の結果から新たな評価手法を探る メセナのヒント:メセナの成果を捉える「エピソード評価」
その他	お答えします!メセナに関する質問・相談(11):海外の企業メセナ最新事情
	メセナ担当者のためのアート講座(11)<ダンス・前編><ダンス>をつくる。—モノづくりのために必要なコト 山口佳子(アートマネジメントオフィス alfalfa 代表)

60号(3/15発行) 特集:創造力にめざめよう	
巻頭言	芸術文化への投資こそ未来を拓く鍵 元・フランス文化大臣 ジャック・ラング
トップインタビュー	メセナを通じてホテルの品格を磨く(株)ホテルオークラ東京 取締役会長 松井幹雄
特集	隣人を確認し合うワークショップ デザイン評論家/武蔵野美術大学教授 柏木博 感性価値創造ミュージアム 赤池 学 ((株)ユニバーサルデザイン総合研究所 所長) 芸術と食の地産地賞 田野智子(NPO 法人ハート・アート・おかやま) 京町家再生 黒竹節人((株)くろちく)/ベアリングアート展 (日本精工(株)) メセナのヒント:創造力にめざめるには…アートに倣う「お悩み」解決法
	その他

2.2 情報システムによる発信（4,450千円）

(1) ウェブサイト (<http://www.mecenat.or.jp/>) にて、会員企業・団体のメセナ活動をはじめ、メセナと芸術文化振興に関する総合情報を発信しました。月平均アクセス数は約12万件（ページビュー）でした。本年は、協議会の組織案内、機関誌ページ、会員のメセナ活動の告知ページ等をリニューアルし、利用しやすくするとともに、更新業務の効率化を図りました。

あわせて、政策提言活動等の活発化にともない、研究・提言ページを新たに整備しました。

従来に比べ、利用者1回あたりの滞在時間が2倍に伸びています。

また、ブログでは、イベント報告やメディア掲載のお知らせ、アートや情報源の紹介、政策の動向など、日々動きのある話題提供に努めました。

(2) メセナ活動データベース「メセナビ」(<http://www.mecenavi.info/>) に、「2008年度メセナ活動実態調査」の回答にもとづき、企業約540社のメセナ活動実績および企業財団約230団体のリンク集を制作・公開しました。月平均アクセス数は約3.4万件でした。

2.3 資料収集（758千円）

企業メセナ・社会貢献、CSR活動および文化政策、アートマネジメント等に関する情報収集活動を行いました。また、新聞・雑誌のクリッピング、ビデオを含む事務局内の情報ライブラリーを一般に公開しました。

メセナ活動が掲載されている企業のCSRレポートをまとめたコーナーを新設しました。業務推進における参照・活用も進みました。

■公開時間：月曜～金曜日、11：00～17：30（要電話予約）

■利用者：47件（学生・研究者、芸術団体、会社員等）

■現在の開架資料：書籍・報告書約1300冊、企業・企業財団の資料約1000社、新聞・雑誌記事、関連機関の定期刊行物、映像資料約300点

2.4 出版（225千円）

10月9日に開催した研究報告&ラウンドテーブル「メセナの成果をどう測るか？」の内容をセミナーシリーズとして発行するため、記録を整理しました。2010年の協議会設立20周年を機に書籍を発行する件については、次年度も引き続き検討事項とします。

2.5 コーディネート事業（4,134千円）

会員企業や自治体、教育機関などの要請に応じて、メセナに関するご相談や

アドバイス、具体的なプログラム開発や企画協力、講師の派遣などを受託事業としてコーディネートしています。

2008 年度は、会員等からの要請に応え、以下の具体的なメセナプログラムの運営に協力しました。

企業・団体名	業 務 内 容
トヨタ自動車	<p>① アートマネジメント総合情報サイト「ネットTAM」(www.nettam.jp)の企画・運営、月例更新(コンテンツ制作)、ブログ更新作業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 08年の月間アクセス[ページビュー:PV]: 平均約16万件(前年約11万件) ・ 開設以来の累計アクセス[PV]: 約500万件(04年10月~09年3月末)  <p style="text-align: right;">ロゴマーク</p> <p>② 公募助成「トヨタ芸術環境 KAIZEN プロジェクト」の企画・運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一次審査(5月)、最終審査(公開プレゼンテーション大会、7月) ・ 応募案件に対するパブリックコメントの実施(6~9月) ・ 採択案件の企画実現サポート、定期レポートの公開(7月~) ・ 公式サイト、ブログの編集・更新(6月~)   <p style="text-align: right;">ロゴマーク</p> <p>7/12「公開プレゼンテーション大会」@トヨタ自動車東京本社</p>
アサヒビール 芸術文化財団	<p>美術展シリーズ:アサヒ・アート・コラボレーション企画・推進およびアサヒ・アート・フェスティバル実行委員会参画</p> <p>①アサヒ・アート・コラボレーション「森を遊ぶ—木村崇人」展</p> <p>会期 2008年6月14日(土)~7月15日(火)</p> <p>会場 すみだリバーサイドホール・ギャラリー(東京) アサヒビール吾妻橋本部ビル1階ロビー</p> <p>共催 墨田区、アサヒ・アート・フェスティバル実行委員会</p>  <p>②アサヒ・アート・フェスティバル実行委員会 上記展覧会が参加している「アサヒ・アート・フェスティバル」の実行委員として、AAF全体の運営にも協力。毎月の定例会に出席するほか、公募プロジェクトの選考委員、検証委員も務めています。</p>

3. 調査研究事業（13,103 千円）

3.1 「2008 年度メセナ活動実態調査」の実施（4,285 千円）

企業によるメセナ活動の実態調査は、4月～5月、4,434社を対象に調査票を郵送し、662社から回答を得ました。

2007年度に「メセナを実施した」と回答した企業は460社あり、調査票に寄せられた回答を集計して「メセナリポート」で概要をまとめるほか、調査結果についての記者発表会を11月におこないました。また、調査回答企業の情報の一部をオンラインデータベース「メセナビ」に掲載し、公開しています。

【主な調査結果】

- 2007年度にメセナを実施したと回答した企業は、460社、1社あたりの平均活動件数は6.6件。
- 活動費総額につき回答のあった404社についてみると、1社あたり活動費は6,558万円（中央値は908万円）でした。経年で比較可能な9年連続回答企業（75社）の1社あたり活動費は13,350万円で、この9年間で大幅な増減は見られませんでした。
- 活動の重視点については、6割以上の企業が「地域文化の振興」、「芸術文化の啓発・普及」と回答しました。また、「青少年への芸術文化教育」という回答は、この5年間継続的に増加しています。
- 「メセナ活動をCSRの一環として位置付けている」企業は332社で、「今後CSRの一環に含めていく」と回答した企業を合わせると406社になりました。
- メセナ活動を通じて得たことについては、「地域との関係がより深まった」が最多で、「企業イメージやブランド価値が向上した」と回答した企業は去年より約5ポイント上昇しました。
- 芸術分野と他分野※の「複合型メセナ活動」実施状況について設問したところ、実施企業406社のうち、183社が行なったと回答。
※他分野：「青少年教育」、「まちづくり・地域活性化」、「福祉・医療」、「環境」、「国際交流・多文化共生」

■2008年度の調査部会では、「芸術分野と他の分野の複合型メセナ」と「メセナ活動を通じて企業が得たこと」から見るエピソード評価の可能性の2点を中心に分析しました。

■10月には、調査部会での分析と検討に基づき、「メセナの成果をどう測るか？」と題した公開のラウンドテーブルを以下の内容にて実施し、「メセナノート」に抄録を掲載しました。3月には「2008年度メセナ活動実態調査報告書」をまとめて発行しています。

【開催概要】

<p>「メセナの評価をどう測るか？」 ～メセナ活動実態調査の結果から新たな評価手法を探る」 ○日時：2008年10月9日（木）15：00～17：00 ○会場：日本財団ビル2階会議室（東京・港区） ○内容：2007年度メセナ活動実態調査結果の報告、メセナの評価手法について ○出演： 太下義之（三菱UFJリサーチ&コンサルティング〔株〕芸術・文化政策センター長） 甲斐賢治（NPO法人remo〔記録と表現とメディアのための組織〕代表理事） 筑紫みずえ（〔株〕グッドバンカー 代表取締役社長） 山岡義典（NPO法人日本NPOセンター 代表理事） 関 正雄（調査部会長／損害保険ジャパン理事 CSR・環境推進室長） ○参加者：59名</p>
--

※2008年度の調査事業は、文化庁の「平成20年度芸術活動基盤充実事業」に採択されました。

3.2 研究活動（320千円）

(1) 研究部会

- ・ 2008年度の研究テーマを「メセナの再定義～企業メセナの新たな展開を考える」とし、2010年の協議会設立20周年に「これからの企業メセナ像」を社会に発信することを目標に設定。メセナの対象分野の拡大（「文化」の幅）や企業メセナの「企業」の範囲、「見返り論」のありかた等を再考すべく、主にゲストへのヒアリング等を通じて研究を深めました。
- ・ 研究の過程でオバマ米大統領の文化政策マニフェストに注目し、日本語版を作成して議論に活用するとともに、広く一般にもその内容を発信しました。

■2008年度研究部会開催実績（会員オープン参加）

第1回	4/25（金）	2008年度の研究テーマについて／「10の提言」の今後の展開について
第2回	6/27（金）	「メセナの再定義」に向けて～ヒアリング(1) 「これからの企業メセナ、芸術文化と企業経営に関するビジョンについて」 講師：福原義春企業メセナ協議会会長
第3回	9/11（木）	「メセナの再定義」に向けて～ヒアリング(2) 「ベンチャー・フィランソロピー／ベンチャー・フィランソロピーと企業経営」 講師：ニッセイ基礎研究所社会研究部門取締役研究理事・神座保彦氏
第4回	12/4（木）	「メセナの再定義」に向けて 「協議会政策提言活動」の今後の展開
第5回	2/17（火）	「メセナの再定義」に向けて～ヒアリング(3) 「最新論文「再考、文化政策—拡大する役割と求められるパラダイムシフト～支援・保護される芸術文化からアートを起点としたイノベーションへ」から」 講師：ニッセイ基礎研究所社会研究部門・吉本光宏氏
第6回	3/2（月）	「メセナの再定義」に向けて ヒアリング(4) 「英国のクリエイティブ政策と文化の領域について」 講師：ブリティッシュ・カウンシル 湯浅真奈美氏

- ・ 時事課題として、世界大恐慌時代の米国の芸術政策等を分析し、今般の金融危機にどのように対応すべきかを研究。部会やメーリングリスト等で議論を重ね、09年3月発表の「緊急提言」につなげました。

(2) 政策提言活動

- ・ 2008年1月に開催した「文化政策フォーラム」に続き、上半期は関係各方面との意見交換会を行いました（5/20 民主党、5/27 自民党文化伝統調査会ほか）。「日本の芸術文化振興について、10の提言」（07年7月）が自民党文化伝統調査会の政策提言『文化芸術立国』の実現に向けて」（6/4発表）に取り入れられるなど、提言活動の成果がみられました。
- ・ 提言の広報にも注力。ジャパン・タイムズ紙より取材を受け（福原会長）、7/13付特集記事「Japan's culture policy lingers in limbo」に大きく取り上げられました。
- ・ 未曾有の経済危機に際し、経済再建策のみを中心に社会再生をめざすことに対する強い危機感から、研究部会を中心に幹事会や理事会等で、新たな方策の検討を重ねました。それらを取りまとめ、2009年3/16に、地域コミュニティ再生のための緊急政策提言「ニュー・コンパクト」（COMPACT: Community Policy for Action）として発表。芸術文化の振興は、地域活性や人材育成に資するものであり社会的投資であるとの考えから、持続可能な地域社会の再生と創造のために、長期的な文化政策の必要性を訴え、基本的な行動原則について提案しました。あわせて、文化の領域からの緊急アクションプランを発表しました。
- ・ 同提言のプレスリリースを3/16に配信（344か所）。その他関係各所にも情報発信したところ、地方紙を中心に約40媒体の記事が掲載されました（4月掲載分含む）。

(3) 実務担当者勉強会（メセナ若手ネットワーク）（67千円）

会員企業・団体においてメセナ業務を担当する若手スタッフによる勉強会を次のとおり実施しました。

開催日	会場	テーマ・内容（敬称略）	参加者
7月31日 （木）	アサヒビール 大山崎山荘 美術館（京都）	「大学や地域との連携によるプログラム作り」 ～アサヒビール大山崎山荘美術館「アートでかけ橋」展視察～ 地域と連携して美術館外展示も行う、京都造形芸術大学との共催による「アートでかけ橋」展。地域・教育機関との連携によるプログラム作りの経緯、運営等について同美術館の山城氏が解説。	10名

4. 顕彰事業（15,887千円）

「メセナ アワード 2008」（8,842千円）

本年度も文化庁の後援のもと、「メセナ大賞」と「文化庁長官賞」の2部門からなる「メセナ アワード」を実施しました。4月1日～5月末までの募集に対し、両部門とも151件（136社・団体）の応募があり、特に地域に根ざしたメセナ活動が多く寄せられました。

応募案件について大賞部会の協力を得ながら約3ヵ月にわたる調査・取材をおこない、9月に実施した2回の審査会で次の企業および団体の受賞を決定。3年任期の最終年となる審査委員には、メセナ活動の範囲が徐々に広がるなか、真摯な「メセナ論」をご議論いただきました。その結果、全国各地の分野や企業規模もさまざまな活動を選出することとなりました。

【メセナ大賞部門】

メセナ大賞 サントリー(株)

～美を結ぶ。美をひらく。～ サントリー美術館の運営と活動

地域文化支援賞 (株)伊予銀行

「伊予銀行地域文化活動助成制度」による草の根文化支援

たたかう劇場賞 佐藤電機(株)

王子小劇場の運営と、若手劇団への支援

伝統技能継承賞 (財)竹中大工道具館

竹中大工道具館での交流・体験重視型活動

音楽文化普及賞 トヨタ自動車(株)

「トヨタコミュニティコンサート」～アマチュアオーケストラによる訪問コンサート～

網の目コミュニケーション賞 (株)ふくや

博多の伝統芸能、祭りの普及・支援

【文化庁長官賞部門】

文化庁長官賞 (財)ソニー音楽芸術振興会

クラシック音楽を通じた次世代育成と、若い演奏家への支援活動

*メセナ大賞部門受賞6活動については、一般投票による「あなたが選ぶメセナ賞」を実施し、竹中大工道具館の活動が受賞しました。

【メセナ アワード 2008 審査委員（50音順・敬称略）】

いとうせいこう（作家、クリエイター）/大笹吉雄（演劇評論家）/岡部真一郎（音楽学者・評論家、明治学院大学教授）/樺山紘一（東京大学名誉教授、印刷博物館館長）/北川フラム（アートディレクター、アートフロントギャラリー主宰）/檜崎洋子（武蔵野音楽大学教授、音楽学）/山根基世（LLP ことばの杜代表）/福地茂雄（企業メセナ協議会理事長）

また、本顕彰事業を通じて見えてきた企業メセナの現状について検証する場を設けようと、3年間の任期を終えたアワード審査委員ならびに受賞企業の代表を迎えてのシンポジウムを開催しました。メセナが社会・地域にもたらす活力や経営資源と結びつく活動など、この間の企業メセナの広がりや今後の可能性について議論しました。

【開催概要】

「日本の底力を企業メセナに探る」～メセナアワードの多様な広がりから～

○日時：2009年3月11日（水）15:30～17:30

○会場：電通ホール

○登壇者：

[受賞企業・団体代表]

石橋嘉人（近畿労働金庫理事長）＊2006年「文化庁長官賞」受賞

佐藤行雄（佐藤電機[株]代表取締役）＊2008年「たたかう劇場賞」受賞

[2006-08年メセナアワード審査委員]

樺山紘一（東京大学名誉教授、印刷博物館館長）

北川フラム（アートディレクター、アートフロントギャラリー主宰）

山根基世（LLP ことばの社代表）

[2007-08年大賞部会長]

布施直人（トヨタテクノミュージアム産業技術記念館館長）

[モデレーター]

荻原康子（[社]企業メセナ協議会シニア・プログラム・オフィサー）

○参加者数：約170名

5. 国際交流事業（892千円）

- ・ 年間を通じて、各国のメセナ組織と主にメール等で情報交換しました。
- ・ 上半期は、6月25日に米国ボーイング社フィランソロピー部門の担当者が来局。日本の企業メセナや寄付の動向、協議会の活動内容についてヒアリングを受けるとともに、同社の社会貢献の現状を聞きました。
- ・ 下半期は、近年交流の機会が減少していた在日の海外文化機関を積極的に訪問しました。日本の企業メセナ事例や協議会の活動を紹介し、今後の積極的な交流と協力関係の構築を確認しました。
※1/19：フランス大使館文化アタッシュ担当官 エレーヌ・ケルマシュター氏、2/3：スペイン語圏文化センター「セルバンテス文化センター東京」館長 ビクトル・ウガルテ氏、2/18：アメリカ大使館広報・文化交流部 文化・交流担当官 デール・ラージェント氏、同部文化担当官補佐 中西玲人氏）
- ・ 研究部会との協力でオバマ米大統領の文化政策マニフェストを和訳し、協議会サイトやブログで紹介するなど、海外の関連情報の収集と紹介に努めました（ダウンロード数：約600、メディア掲載あり）。また「メセナ活動実態調査2008」「メセナアワード2008」のプレスリリースを英訳し、WEBの英語ページの情報を更新するなど、日本から海外への情報発信にも努めました。

※2008度は国際メセナネットワーク会議は開催されませんでした。

6. 助成事業（業務費 13,482 千円）

6.1 助成認定制度利用状況

2008 年度には 6 回の助成選考委員会を開催し、申請件数 239 件、認定件数 227 件でした。下表のとおり、申請件数、認定件数は共に増加しました。また、寄付件数も増加しましたが、寄付金額、寄付金額分布と合わせて昨年と比較すると、大きな変化はありません。

(1)認定件数

	認定件数	申請件数	備考
2008 年度	227 件	239 件	選考委員会 6 回分
2007 年度	209 件	222 件	選考委員会 6 回分

(2)寄付金額

	寄付件数	寄付金額	平均値
2008 年度	1,540 件	104,113 万円	50 万円
2007 年度	1,447 件	104,365 万円	54 万円

(3)寄付金額分布

※平均値…大口寄付を除いて算出した値

	2008 年度	2007 年度
1000 万円以上	16 件 (1%)	9 件 (1%)
500～1000 万円未満	20 件 (1%)	22 件 (2%)
300～500 万円未満	22 件 (1%)	41 件 (3%)
200～300 万円未満	31 件 (2%)	29 件 (2%)
100～200 万円未満	104 件 (7%)	109 件 (8%)
50～100 万円未満	111 件 (7%)	130 件 (9%)
30～50 万円未満	86 件 (6%)	68 件 (5%)
10～30 万円未満	620 件 (40%)	529 件 (37%)
5～10 万円未満	261 件 (17%)	267 件 (18%)
5 万円未満	269 件 (17%)	243 件 (17%)
合計	1,540 件 (100%)	1,447 件 (100%)

なお、助成認定制度の利用状況に関する分析について、文化庁の「平成 20 年度芸術活動基盤充実事業」として採択され、2009 年 3 月に「文化芸術に対する民間寄付の実態調査報告書」を発行しました。

6.2 関西事務所活動状況

関西事務所（所在地：大阪府中央区・大阪 21 世紀協会内）の活動は、前年度に引き続き、月 1～2 日程度、事務局（東京都千代田区）から職員が出張して行いました。助成認定制度の相談日を設け、制度の概要説明のほかアートやメセナに関する幅広い質問・相談に応じました。

7. その他の活動

7.1 主な協力依頼等への対応状況

委員・講師など

依頼内容	依頼元	内容(期間・開催日)
委員	静岡県	静岡県文化政策審議会(2007年6月～2009年3月)
委員	横浜市	創造都市横浜推進委員会(2007年8月～2009年3月)
委員	NPO法人トリトン・アーツ・ネットワーク	TAN評価委員会(2008年4月～6月、2009年3月～5月)
委員	内閣府大臣官房新公益法人行政準備室	新公益法人制度普及・啓発員(2008年6月～11月)、制度説明会対応(2回)
講師	東北文化学園大学総合政策学部	総合政策学部 公開特別講座「企業メセナと文化支援」(7/1)
モデレーター	AAF 学校	レクチャー&ディスカッション「文化施設の社会的意義と役割ーまちに開かれた施設をめざして」(7/21)
オブザーバー	文化庁	第21回芸術文化助成財団協議会(7/29)
講師	日本芸能実演家団体協議会	芸団協セミナー2008 「支援申請実務ワークショップ」(7/30、8/8)
委員	シーズ・市民活動を支える制度をつくる会、株式会社ファンドレックス	「日本ファンディング協会(仮称)」発起人世話人会(2008年8月～2009年3月)
講師	地域創造	地域創造フェスティバル セミナー「企業メセナと地域文化の振興」(8/5)
講師	日本芸能実演家団体協議会	芸団協セミナー2008 芸術団体の経営カイゼン大作戦「企業メセナの動向」(8/5)
講師	NPO 法人アートプラットフォーム	急な坂ゼミナール 演習2「パートナーをつくる方法」(8/19)
講師	浜松市文化振興財団 浜松市アクトシティ音楽院	コミュニティコース主催者養成セミナー「企業メセナについて」(9/20)
講師	小金井市市民部コミュニティ文化課	芸術文化市民講座「小金井発! 芸術文化を書くこと/伝えること講座～想いを伝える申請書づくり」(9/26)
パネリスト	ブリティッシュ・カウンスル	英国留学フェア2008 『英国留学で切り開く、アート留学の魅力』(10/18)
講師	日本芸能実演家団体協議会	芸団協セミナー2008 芸術団体の経営カイゼン大作戦「最終プレゼンテーション」(10/27-28)
講師	アーツコミッション・ヨコハマ(横浜市芸術文化振興財団)	ACYアーティスト向け講座「THE 助成金」(11/14)
講師	佐賀県企業メセナ協議会平成20年度第3回講演会	「私のアートスタイル経営」(11/19)
講師	日本芸能実演家団体協議会	芸団協セミナー2009 「企業メセナのABC～芸術と企業との関係づくりに欠かせないこと」(2/25)
委員	埼玉県県民生活部	埼玉県文化活動サポート団体助成事業審査委員会(～2009年3月)

ほか、選考委員等 11 件

寄稿など

依頼内容	依頼元	掲載媒体名
寄稿	NPO 法人コンカリーニョ	「劇場通信」vol. 19 (7/1 発行号)
原稿転載	ちば演劇を見る会	「ちば演劇を見る会だより」 第 190 号
寄稿	文部科学省	「文部科学時報」No. 1597 (平成 21 年 2 月号)
寄稿	NPO 法人アート NPO リンク	「アート NPO データバンク 2008」(2009 年 3 月発行)
寄稿	日本実業出版社	「経営者会議」No. 672 (2009 年 3/1 発行号)
寄稿	地域創造	「地域創造レター」No. 168 4 月号 (2009 年 3/25 発行)

共催・後援・協力

依頼内容	依頼元	内容(期間・開催日)
協力	日本経営クラブ	第 25 回 JMC「ミドルの日【提言&コンサート】」(7/29)、第 16 回「JMC コンサート」(11/12)、第 16 回「世界の美術鑑賞と講演&コンサート」(3/13)
後援	国際文化政策研究教育学会	「文化政策セミナー08 -くらしが織りなす地域の美-」(9/13~14)
後援	NPO 法人アート NPO リンク	全国アート NPO フォーラム in 沖縄 (11/21-23)
後援	NPO 法人日本 NPO センター	市民セクター全国会議 2008 (11/29-30)
協力	東京芸術大学	「芸術系大学への期待に関する調査」実施に関する協力 (12/24)
後援	フェスティバル／トーキョー実行委員会	プレ・オープニング国際シンポジウム (2/4)
後援	「世界劇場会議 国際フォーラム 2009」実行委員会	世界劇場会議 国際フォーラム(2/6-7)
後援	地域総合整備財団	第 3 回地域振興フォーラム (2/20)

7.2 インターンシップ受け入れ

主に事務局内のライブラリー資料整理、セミナー・会議運営サポートなど、事業アシスタントとして業務を担当いただきました。

派遣元・プログラム名	人数	期間
日米文化センター	1 名	2008 年 8 月～9 月
跡見学園女子大学マネジメント学部 インターンシップ	1 名	2008 年 9 月 16 日～26 日
自由が丘産能短期大学	1 名	2009 年 2 月 6 日～20 日

以上

※本報告書に記載の各種名称・所属等は、事業実施時点での表記に準じています。